

年度 2009	学期 後期	曜日・校時 月・2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/ (英語名)		ドイツ語 IV (GermanIV)		
対象年次 2年次	講義形態	演習	教室	
対象学生 (クラス等) 2M11・12	科目分類 外国語科目 (ドイツ語)			
担当教員: 山下哲雄 /E メールアドレス: yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp /オフィスアワー: 2校時後の昼休み、3校時後の休み時間				
授業のねらい: ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。 授業方法: 会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。 授業到達目標: ドイツ語を好きになり、ドイツそしてヨーロッパに興味を持つ。				
<p>授業内容</p> <p>ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。</p> <p>第1回 パーティーには何を着ますか 第2回 この白いワンピースをどう思いますか 第3回 このゴミはどこに捨てますか 第4回 ドイツの学校の環境プロジェクト 第5回 個々で犬を放してはいけません 第6回 何歳になれば、何ができますか 第7回 ドイツの義務教育は何年ですか 第8回 パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません 第9回 ドイツの学校 第10回 復活祭には何をしますか 第11回 ドイツの祭りと祝日 第12回 カーニバル 第13回 ドイツと日本の年末年始 第14回 「アドヴェント」とはどういう意味ですか 第15回 定期試験、後期の授業の総括、ビデオでドイツの文化を見る</p>				
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく			
教科書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社			
成績評価の方法・基準等	小テスト (40%)、定期試験 (50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)			
受講要件 (履修条件)				
本科目の位置づけ				
備考				